

かわらばん 瓦版しろいし

発行：(仮称) 白石地区まちづくり協議会設立準備委員会
編集協力：白石市市民経済部まちづくり推進課
特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

vol.5
令和7年1月1日発行



若者会議の様子 (2024.11.25・29)

若者会議で出された主な意見

- 情報が届いていない。SNSはスマホを持っていない生徒もいるので、学校を通じて情報があると参加しやすい。
- 近所に子どもがいないので、子ども会に属してない。自治会活動もしたいが入り口がない。
- 何かイベントをやるにしても、若者を会議に参加させて意見を聞いてほしい。年配者が考えたことを単に与えられるのは嫌だ。
- もっと若い世代を信頼して、役割を与えてほしい。下の世代を育てるという意識・機会を、もっと持ってほしい。
- 大人からの指示だけで動いていたら、何も身につかない。大人に意見を言う前に、若者が交流して仲間を増やし、実績をつくるようにしたい。

令和6年11月25日(月)と29日(金)の両日、午後4時と午後7時からの2部制で、白石地区の学校に通うまたは居住している10代〜20代を対象にした「若者会議」を実施しました。事前にチラシを市内の中学・高校で配布し参加を呼びかけたところ、中学生28名、高校生2名、大学生2名、社会人2名の参加がありました。

会議の冒頭、白石地区の現状をデータを元に説明した上で、

①地域活動への関心はあるのに参加しない若者が多い

のはなぜ？

②さまざまな活動に対して「手伝ってもいい」と思っている若者は多いのに、実際に参加する人が少ないのはなぜ？

③若者が地域活動に参加しやすくするために自分達ができることは？

という3つの質問について話し合ってもらいました。大人がハツとする意見や、主体的に地域と関わるアイデアがたくさん出てきました。(主な意見は左をご覧ください)

協議会設立に向けた世代別対話を実施しました 白石地区在住・在学・在勤の10〜20代による若者会議からスタート

白石地区みらいづくり 座談会を開催します！



白石地区のこれから
地域づくりを多世代で
話し合うカタリバズ

第1回 2/5 2025 水 19:00~21:00

第2回 2/26 2025 水 19:00~21:00

【場所】白石市役所 4F大会議室

(主催) (仮称) 白石地区まちづくり協議会設立準備委員会
(後援) 白石市 市民経済部 まちづくり推進課
(協力) 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

<内容>

世代別会議で出された意見をもとに、住民が主体となって進める白石地区での取り組みを、参加者で話し合って考えていきます。

<参加対象>

白石地区に在住・在学・在勤の方ならどなたでも参加できます。

<申込み方法>

右のQRコードをスマートフォンで読み込んでいただくと、申込みフォームにアクセスします。必要事項をご入力の上、お申し込み下さい。



【申込み〆切】令和7年1月31日(金)

<問い合わせ先>

(仮称)白石地区まちづくり協議会
設立準備委員会 事務局 (担当：大橋)

【TEL】080-5218-4205

【メールアドレス】shiroishimachikyo@gmail.com



設立準備委員会事務局を市民活動支援センターの一面に開設

白石地区は他の地区と違い、地区独自の公民館を持っていません。そのため(仮称)白石地区まちづくり協議会設立準備委員会では、令和6年10月1日に白石市民活動支援センター第一会議室に事務局を置く事務所を開設しました。

開設当初は机が1つあるだけの事務所でしたが、ミーティングテーブルや事務机・イス等を譲り受けたり、看板を自作して玄関に掲げたりするなど、手作り感満載ですが少しずつ事務所らしくなってきました。11月に入るとようやく事務局専用の電話やパソコン、インターネット環境も整備され、徐々に事務局としての機能が備わりつつあります。

当面は、設立準備委員会の委員2名で事務局を回していく形となります。ただし、お互い仕事を持ちながらの業務となるため、しばらくの間は開所日を毎週月曜日とします。

これから徐々に機能を拡充していきますので、どうぞよろしく願います。

【編集後記】

(仮称) 白石地区まちづくり協議会設立準備委員会が発足し、今までは市まちづくり推進課が行っていた事務局業務を、私たち委員が主体となって行うことになりました。慣れないことの連続なので、まちづくり推進課の方々、斎藤先生のお力を借りながら、何とか進めております。住みやすく、皆が幸せを感じる場を作るためには、地区住民の皆様のご協力が不可欠です。今後ともよろしく願います。

いま地域を支えている60代以上の声を伺いました【熟練世代会議】

12月19日（木）午後2時から60代以上の世代を対象にした「熟練世代会議」を実施しました。白石地区の自治会長、民生委員、主任児童委員など27名の参加がありました。

冒頭、コーディネーターを務めるNPO法人都岐沙羅（つぎさろ）パートナーズセンターの斎藤主税（さいとうしゅけ）先生から、「人口減少社会では、地域活動の量をコントロールし、人と人の交わる密度を高めることが大事」という論点が示され、参加者同士での意見交換がスタートしました。

少人数のグループに分かれ、①10年後の暮らしの心配事②10年後どんな暮らし・活動が営ま

れていたらいいか③思い描く10年後を現実のものとするために足りていないことは何か④住民自身ができそうなものは何か、という4つのテーマに対して、一人ひとりの考え・意見をざっくりと話し合っていました。（主な意見は左をご覧ください）

会議では、先に開催された若者会議での意見も紹介され、若者は主体的に地域活動に参加したいという思いをかなり持っていることに、大変驚き、感心した様子でした。地域で活動している方々だからこそその悩み・意見がたくさん出され、とても有意義な会議となりました。



熟練世代会議の様子（2024.12.19）

熟練世代会議で出された主な意見

- 若者や働いている人・世代と気軽に話せる機会・接点が少なく、世代間の交流が足りていない。
- 子どもから大人まで幅広い世代が、「お互いに協力しあって一緒に何かを作り上げる」という機会・経験が少なくなった。
- 若者・次世代の声に耳を傾け、その世代の取り組みを年配者が積極的に応援・協力する仕組みをつくってはどうか。
- 役割を細かく分け、若い世代に任せることを、地区全体で推奨・後押ししていく。
- 小さなグループでの活動を積極的に応援し、地域活動のはじめの一步を踏み出す人を増やしていく。
- 学校行事の中に地区住民が参加する機会を設け、世代間交流の場にできないか。

これからの地域を担う30～50代の声を伺いました【次世代会議】

12月19日（木）午後7時から、30代から50代を対象とした「次世代会議」を実施しました。仕事帰りでお疲れの中、13名の方に参加していただきました。次の地域を担う世代の方々ですが、中には自治会副会長をされている方もいらっしゃいました。

熟練世代会議と同様にコーディネーターによる論点提示が行われた後、意見交換がスタートしました。仕事に関すること、親の介護のこと、若者が地域に残るためにはどうしたらよいか、自身が高齢になった時の不安など、現役世代ならではの意見がたくさん出てきました。



次世代会議の様子（2024.12.19）

次世代会議で出された主な意見

- 自治会のことをしっかりと学ぶ機会がなく、若い人が地域活動に参加・参画しやすい仕組み・環境が整っていない。
- 広く薄くつながる場・対話の機会がなく、地区内での人材発掘ができていない。
- 同世代・世代間のつながりが生まれるよう、企画段階から参加できる機会を増やしてはどうか。
- 世代・人・地域のつなぎ役となる仲人役を、中堅世代が中心となって担おう。
- 地域活動の担い手を増やすための学びの場・情報発信に力を注ぐことが大切。
- 自治会やサークルなどの活動・イベントを一覧したカレンダーをつくり、全戸配布してみてもどうか。

世代別会議としては一番最後の実施だったこともあり、既に行われていた若者会議や熟練世代会議での意見も紹介されましたが、それに触発され、前向きな意見がたくさん出ました。

印象的だったのは、同じ世代が集まり語り合うことで、お互いの考え・意見を共有でき、ある種の安心感が生まれたこと。「世代・人・地域をつないでいく『仲人』のような存在が必要であり、その役を担う世代が我々ではないか」という共通認識も芽生え、これからの展開に大きな可能性を感じることができた会議でした。

（主な意見は左をご覧ください）

私たちがめざしたい白石地区の姿とは？

まちづくり協議会設立に向けた準備を進める中で、そもそも私たちがつくりたいとしている「まち協」とは何を目的とした団体なのかを、仮の形でも明文化することが、今後、話し合いを具体化する上でも、また、より多くの地区の方々に参画いただく上でも必要と感じ、理念（案）の策定を行いました。昨年度に開催した地域づくりフォーラムや世代別会議で出された意見を基に、準備委員で話し合い、「目指したい地区の姿」を以下の6つの要素にまとめました。

- あらゆる世代の意見が尊重され、活動・事業に反映されること
 - 次世代の活動が次々と生まれ、多世代で一緒に取り組めること
 - 自治意識が高く、住み続けたいと思える地域を一緒につくり出すこと
 - 隣近所に顔見知りが出て、困ったら気軽に相談し合えること
 - 各自治会や各所団体の情報が共有され、協働や協創ができること
 - 地区がもつ豊かな自然・歴史・文化を愛着をもって継承すること
- これらの姿を実現する団体として、「まち協」を構想していきたいと思います。これはあくまでも理念（案）であり、皆さんの議論を経ながら、よりよく鍛えていきたいと思っています。



設立準備委員会で意見を出し合い理念案を検討しました（2024.8.28）

（仮称）白石地区まちづくり協議会の理念（案）

将来への希望と安心感を高める自治型コミュニティをつくる

私たちは、地域の困りごとや人・団体の情報を日常的に整理・共有し、自治会や各種団体の協働と新しい発想の活動を生み出します。

※理念とは、設立する協議会が“そもそも何を目的に活動・事業を行うのか？”を明文化したものです。設立する協議会の根幹を成すものであり、この考えに沿って事業内容や組織体制等を考え、さまざまな取り組みを実行していきます。